

NEWS&TOPICS

平成13年火災等発生件数まとめ

救急件数7年連続増加で過去最高に
市民向け救急講習会の開催で応急手当普及を図る

平成13年中の火災・救急・救助の発生件数がまとまりました。平成13年4月の乙訓消防組合発足で、消防統計の取扱い基準が見直されました。消防事故(小火)の取扱いがなくなり、火災件数に含まれることになりました。また、救助件数では、初動体制の強化から火災現場への救助出動に伴い、件数が増加しています。

年別火災・救急・救助の発生件数

	平成11年	平成12年	平成13年
火災	6	2	22
消防事故	40	38	
救急	1,326	1,420	1,633
救助	11	13	21

【火災】 出火率は4.1(全国平均は5.0)
地域ぐるみで放火されない環境づくりを

向日市内で発生した火災件数は22件で、出火件数を火災種別で見ると、建物火災が全体の54.5%で最も高い比率を占め、次いで車両火災、林野火災、その他火災となっています。火災件数からの出火率(人口1万人当たりの火災件数)は4.1で全国平均の5.0を下まわっています。

今後、増加傾向にある「放火(疑いを含む)」による火災に対して、消防団、自主防火組織および女性防火推進員と連携を密にし、放火されない環境づくりなど住宅の防火対策を進めていきます。

【救急】 平成7年から毎年最高件数を更新
救命効果を高めるため応急手当普及を推進

昨年一年間の救急事故発生件数は、1,633件で一昨年に比べ213件の増加で、平成7年から毎年最高件数を更新しています。その内訳は、急病870件、交通351件、一般負傷245件で全出動件数の90%を占め、一日平均の救急事故発生件数は4.5件で、搬送人員は市民の33人に一人が救急隊によって搬送されたこととなります。

本市は、都市型住宅の傾向により全年齢層において急病が増え、さらなる人口の高齢化に伴い救急件数が増加するものと予想され、特に重篤傷病者の救命効果を高めるため、市民に対して救急講習会を開催し心肺蘇生法等の応急手当普及を積極的に進めていきます。

【救助】 件数増加は、初動体制の強化で
火災現場への救助出動が増加したため

救助出動件数は21件で、一昨年に比べ8件増加しました。その内訳は、火災9件、交通7件、その他5件で、延べ8人を救助しました。昨年の増加の特徴は、火災現場への救助出動が増加したものです。今後、さらに多発すると予想される交通事故や自然災害に備え、さらに救助資器材の充実を図ります。

万に備えて

火災を防ぐ



消防署では、防火についての指導や相談を行っています。また、町内や自治会で消火器や防災器具を設置される場合その費用の一部を市が補助します。また、消火器の詰め替えについても補助があります。

応急手当をマスター

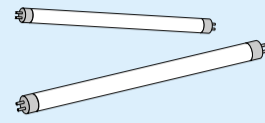
急病やケガで大切なのは、その場に居合わせた「あなた」の応急手当です。救急車が到着するまでの数分間にどれだけ対応できるかが重要になってきます。

消防署では、町内会や家庭でできる応急手当の講習会を行います。この講習会では、等身大の人形を使って、人工呼吸や心臓マッサージなどを実際に体験し、万に備え、講習会を通じて救急についての技術をマスターするものです。

乙訓消防組合向日消防署 ☎934-0119

NEWS AND TOPICS

平成14年4月から
蛍光灯が分別収集に加わります



平成14年4月から、蛍光灯(管)の分別収集を実施します。

現在、蛍光灯(管)は「その他不燃物」に分類していますが、有害ごみとして新たに追加し、分別収集6品目から、7品目で実施します。

みなさんのご協力をお願いします。
■平成14年4月からの分類■
●空缶 ●空ビン ●ペットボトル
●その他不燃物 ●その他プラスチック
●有害ごみ(筒型乾電池)
●有害ごみ(蛍光灯(管))
※「有害ごみ(蛍光灯(管))」に分類する物は、直管形、環形(丸い物)、コンパクト球(電球形)です。割れている物や、蛍光灯以外の電球は、「その他不燃物」に出してください。
※購入時のケースなどの容器には入れないでください。

☎環境政策課衛生係(内線226)

公民館クラブ学習発表会

舞台発表の部



●日時 3/10(日)午前10:30~午後4:00
●場所 市民会館ホール
●プログラム
【午前の部】合唱・合奏
【午後の部】謡曲、詩吟、民謡、体操、舞踊
お問い合わせ 中央公民館 ☎932-3166

展示発表の部

寺戸公民館 ☎933-0031 2/16(土)・17(日)
森本公民館 ☎931-1183 2/23(土)・24(日)
鶏冠井公民館 ☎921-0063 3/2(土)・3(日)
中央公民館 ☎932-3166 3/9(土)・10(日)
※各会場とも土曜日は、午前10:00~午後4:00
日曜日は、午前10:00~午後3:00
※お問い合わせは、各公民館へ。

高齢者住まいのバリアフリー化を推進します

○持家のバリアフリー化

高齢者自身が、持家をバリアフリーリフォームする場合、生存時の返済を軽くする住宅金融公庫の特別な融資制度(高齢者向け返済特例制度)があります。この制度を利用すれば、生存時は利子のみを返済し、死亡時に住宅資産などを利用して、元金を一括償還することができます。また、この融資に係る債務については、高齢者居住支援センターによる債務保証を受けることとなります。

○賃貸住宅のバリアフリー化

バリアフリー化された高齢者向け優良賃貸住宅を建設したり、既存の住宅を高齢者向け優良賃貸住宅とするためにバリアフリーリフォームする場合に、国や地方公共団体から補助金や税制上の優遇措置を受けることができます。また、賃貸人が低所得の高齢者世帯に対して家賃の減額を行った場合には、その費用についても補助を受けることができます。

お問い合わせ 京都府土木建築部住宅課 ☎414-5361

乙訓統一物価調査結果【向日市分】

平成14年1月調査分 単位:円

品目	区分			向日市内				二市一町平均
	高値	安値	平均値	価格状況				
				13年10月	増減率(%)	13年1月	増減率(%)	
マーガリン	281	208	248	249	0.4	261	5.0	240
牛肉	523	231	343	325	5.5	335	2.4	343
鶏卵	229	84	175	200	12.5	199	12.1	172
玉ねぎ	35	16	25	18	38.9	26	3.8	22
ばれいしょ	34	17	24	28	14.3	24	0	23
キャベツ	29	8	18	19	5.3	37	51.4	15
みそ	418	365	401	401	0	395	1.5	397
食用油	449	156	334	335	0.3	363	8.0	374
インスタントコーヒー	1310	995	1181	1189	0.7	1173	0.7	1138
季節の果物	420	310	357			514	30.5	349